

子どもの居場所作りの専門家が語る “安心して失敗できる”ことの大切さ

フリースペースたまりば理事長 西野博之さん

NPO法人「フリースペースたまりば」理事長で、子どもの遊び場「川崎市子ども夢パーク」(高津区下作延5の30の1)所長の西野博之さん。30年近く、不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所作りに携わっています。長年、さまざまな背景を持つ子どもたちにかかわってきた西野さんの視点から、「今の子どもに必要なこと」を語ってもらいました。



夢パーク内プレーパーク

■子どもの「遊んでみた 危険か」などの理由で「い」と思う気持ちが大切 KかNGの指示を出して、遊びを選択している。昔と違い、現代的な素材や道具などを使 代は行動の主導権を親が握っているんですね。こ 今は見かけなくなっ ねだと本当に自分が、や った「空き地遊び」のよう ってみたいことが分か ます。子どもの遊びと らない子になってしまっ ます。「この遊びをしてみ たい」という気持ちを大 切にし、実際に遊んで分 かってみたい「気持ちから、 行動したり、想像力を使 った遊びの遊びです。その 中から、自分たちがルー ルを決めたり、危険を予 知・判断したり、失敗し たりしながら生きる力が 身に着いていきます。

子どもが、この初め て来た子の中には「い」 てもいいですか?」と一 つ一つ確認する子も。普 段、親が子どもに「服を 汚すかどうか」「安全か 見たいから」という理由 で来た子の中には「い」 てもいいですか?」と一 つ一つ確認する子も。普 段、親が子どもに「服を 汚すかどうか」「安全か 見たいから」という理由

親が子どもの主導権を 握ることの弊害 親が子どもの主導権を 握ることの弊害 親が子どもの主導権を 握ることの弊害

子どもが、この初め て来た子の中には「い」 てもいいですか?」と一 つ一つ確認する子も。普 段、親が子どもに「服を 汚すかどうか」「安全か 見たいから」という理由



西野博之さん。2003年オープンした「川崎市子ども夢パーク」内、不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設

子どもが、この初め て来た子の中には「い」 てもいいですか?」と一 つ一つ確認する子も。普 段、親が子どもに「服を 汚すかどうか」「安全か 見たいから」という理由

川崎市子ども夢パーク 044(811)2001